

第45期 第2四半期

株主通信

2022.4.1~2022.9.30

次世代へ快適な環境を。
人が暮らし、集う場所に
サニックス。



SANIX

株式会社サニックス

ネットでアンケートご協力をお願い

株主の皆様からのご回答を
今後のIR活動の参考にさせていただきます。
(アンケートの方法は、裏面に記載しています。)

証券コード:4651

トップインタビュー



株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

さて当社第45期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに「第45期第2四半期株主通信」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長

宗政 寛

Q 当第2四半期の市場環境、決算のポイント等について教えてください。

新型コロナウイルス感染拡大で停滞していた経済活動は、段階的に再開に向けた政策が講じられるなど、回復の兆しが見えてきたと感じていますが、一方で、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安の影響などにより資源価格や物価が高騰しており、依然として先行き不透明な市場環境が継続していると懸念しています。

このような社会情勢の中、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」の実現を目指し、急激な速度で変化する市場環境に対して柔軟に対応するため、各事業の成長のみならず、事業間シナジーの追求による成長促進を目的に、事業部門の組織改編を2022年6月1日付けで実施しました。(詳細は4ページに記載)

売上高につきましては、2022年7月以降、過去最大の感染者数を記録した新型コロナウイルス感染症第7波の発生に伴い、特にHS事業部門では、対面での営業活動に一時的な制約を受け売上が減少しました。また、新電力事業部門では、電力調達にかかる卸電力取引市場の価格変動リスクを下げるために、すでに調達契約済みの電力量で供給電力がまかなえるよう、電力需給契約の新規申し込みの停止、大手卸売先への供給を終了する等により、全体では減収となりました。

決算ハイライト

| | | |
|------------------|-------------------|-----------------|
| 売上高 | 22,649 百万円 | (前年同期比 2.1%減) |
| 営業利益 | 746 百万円 | (前年同期比 26.6%増) |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 442 百万円 | (前年同期比 235.0%増) |

利益につきましては、HS事業部門、ES事業部門の売上高減少及び人員増加等の影響や、環境資源開発事業部門において、前期に行った設備投資による減価償却費の増加の影響がありました。新電力事業部門の収益改善や、前期は苫小牧発電所の法定点検による停止期間の減収及び修繕費を計上していたことへの反動もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ増益となりました。

Q 最終年度を終えた前中期経営計画の振り返りと、 新中期経営計画策定に向けた所見をお聞かせください。

前中期経営計画(2019年度-2021年度)については、「今後の本格的な成長を支える経営基盤づくり」と位置づけ、これからの成長を持続可能なものとするために、さまざまな挑戦や変化を許容できる強固な基盤づくりを目指して6項目の経営課題を

中心に取り組んできました。最終年度の2021年度におきましては、冬季における急激な燃料価格の高騰を背景に、電力調達コストが予想を遥かに上回る水準となったことから、大きな損失を計上いたしました。結果として、財務基盤の強化・安定を図ることはできませんでしたが、既存事業の拡大やアライアンス強化といった重点取組事項については、着実に成果を残してきたと考えています。

新中期経営計画(2022年度-2024年度)につきましては、新型コロナウイルスの影響長期化による経済活動の停滞やロシアによるウクライナ侵攻、エネルギー価格の高騰、さらには為替動向など、情勢の先行きを見通すのが非常に困難であることから公表を延期しています。合理的な見通しと計画が策定でき次第、速やかに公表したいと考えています。

■ サニックス長期ビジョン2030年(2021年5月24日発表)

「快適な住環境を次世代につなぐ」のが当たり前の社会へ

人員の増加×エリア拡大×営業手法の多様化×顧客サービスの拡充

戸建住宅・集合住宅ともに、建物の状態を定期確認するビジネスモデルの強みを活かし、お客様のライフサイクルや建物の状態に合わせた最適なトータル提案ができる体制構築。

「環境負荷の低いエネルギー」が当たり前の社会へ

再生エネルギーの高まり×太陽光発電・蓄電池のコストダウン+

製造・設置に加え、メンテナンスや発電所設備及び部材のリユース・リサイクル等あらゆる運営面をサポートできる体制構築。

・メンテナンス
・リユース、リサイクル
技術開発

「捨てない」のが当たり前の社会へ

受入量・種類(入口)の拡大⇄分別・選別の高度化 ⇄リサイクル用途(出口)の多様化

・廃プラスチックのリサイクル用途の多様化(サーマルリサイクルに加え、マテリアル・ケミカルリサイクル)。
・廃液の処理過程で発生する汚泥、油分の分離及び燃料化の技術開発(廃液処理から燃料製造への移行)。

| | 2021年度(実績) 2022年3月期 | 2030年度(目標) 2031年3月期 |
|----------------|------------------------|------------------------|
| 売上高 | 509.3億円 | 1,000億円 |
| 営業利益(売上高営業利益率) | △26.1億円(△5.1%) | 100億円(10%) |
| 当期純利益 | △34.4億円 | 72億円 |
| ROE | △54.0% | 17% |
| ROIC | △14.6% | 15% |

温暖化への対応
(脱炭素社会の実現)

資源枯渇への対応
(循環経済の実現)

持続可能な社会へ

「次世代へ快適な環境を」

トップインタビュー

Q 通期の見通しについて教えてください。

2022年5月に発表した計画に対して減収減益となる見込みのため、通期業績予想を修正いたしました。

住環境領域では、上期の状況を踏まえ新規営業活動に注力し顧客基盤のさらなる強化を図っていますが、営業生産性が一時的に低下することから減収を見込んでいます。一方で、コスト管理の徹底を進めることで、利益水準を維持していくこととしています。エネルギー領域では、PV事業部門において、各電力会社からの系統連系申請に対する回答が想定を大きく超える日数を要していることで工期が後ろ倒しになっていることや、原材料調達の確保について半導体不足などの影響によって、第3四半期以降に本格化すると見込んでいた施工のタイミングが後ずれするリスクが見込まれ、減収減益を見込んでいます。資源循環領域では、苫小牧発電所において、安定稼働に向けて点検内容を見直した結果、修繕コストが増加するものと見込んでいます。

2023年3月期については、当初計画に対して減収減益となる見込みですが、下期は今期の活動と並行して来期に向けた活動を進めていきます。住環境領域では、今期の業績と合わせて来期以降を見据えた顧客基盤の強化を進めています。エネルギー領域では、PV事業部門は今年の施工遅れと同程度の案件がすでに候補地としてリスト化できており来期には実現できる見込みがあり、加えて各企業における脱炭素の取り組み及び電力価格高騰の影響から、太陽光発電への引き合いはますます強くなると感じています。また、資源循環領域では、電力価格の動向を踏まえ、来期以降の稼働を増やすため、今期に予定している修繕期間の中で追加メンテナンスを行い今後の安定稼働を目指しています。

通期業績予想修正について

(単位:百万円)

| | 前回発表予想(A) | 今回修正予想(B) | 増減額(B-A) |
|-----------------|-----------|-----------|----------|
| 売上高 | 51,319 | 46,568 | △4,751 |
| 営業利益 | 2,113 | 1,528 | △584 |
| 経常利益 | 1,841 | 1,271 | △569 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,441 | 1,065 | △376 |

Q 社員数が年々増えていますが、人材の活用についてどのようにお考えですか？

当社グループは、事業に従事する一人一人の質が、サービスの質に直結するとの考えから、「仕事が教育で教育が経営である」を経営理念とし、創業当初から、社員教育に注力しています。また、仕事に対する使命感と意欲、それに裏打ちされた豊富な専門知識をもつ専門家集団を形成する人財育成を課題の一つとし、常に、研修プログラムを刷新しながら、人財育成に取り組んでまいりました。あわせて、変化の激しい市場環境に対応するために多様な人財の採用も継続して取り組んでいます。年間を通じて、様々な経験を積んだ人財を迎え入れ、活躍する人財の厚みができるとともに、社内の活性化につながっています。

また、お客様にご満足いただけるサービス提供のためには、従業員がイキイキと働ける職場環境が必要だと考えております。従業員教育とあわせて、安心・安全な職場環境づくりにも努めています。

Q 株主還元方針など、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2023年3月期の中間配当につきましては、利益剰余金がマイナスであることから、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。株主・投資家の皆様には、大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

引き続き、当社グループが目指すべき、「次世代へ快適な環境を」を核として、「一般家庭向け衛生管理」、「事業者向け衛生管理」、「再生可能エネルギーの普及拡大」、「産業廃棄物の確実な処理・リサイクル」など、事業領域を広げながら、各事業に取り組んでまいります。

皆様のご期待に応えられるように、当社グループ一丸となって、これからも企業価値向上への取り組みを行い、早期復配を目指してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

トピックス

2022年

4月

- HS事業部門 新店舗開設
＜枕崎営業所(鹿児島県)＞
- 廃棄物管理システム「SANIX system (サニックスシステム)」の販売を開始
- 「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」に太陽光発電設備を設置
- 「サニックスワールドラグビーユース交流大会2022」開催

5月

- 野外音楽祭に「蚊の駆除対策」で協力
～地域社会への貢献～

6月

- 組織改編(6月1日付セグメント変更)
- HS事業部門 新店舗開設(関東エリア)
＜千葉営業所(千葉県)、埼玉営業所(埼玉県)、土浦営業所(茨城県)、川崎営業所(神奈川県)＞
- HS事業部門 新店舗開設(九州エリア)
＜諫早営業所(長崎県)、鹿屋営業所(鹿児島県)＞
- 分散型エネルギーリソースを活用した実証事業を開始

9月

- HS事業部門 新店舗開設
＜薩摩川内営業所(鹿児島県)＞
- 「サニックス ラグビーアカデミー」開校
- 「サニックスプレゼンツ グローバルアリーナ プルガリア&ワールドフェスティバル」開催

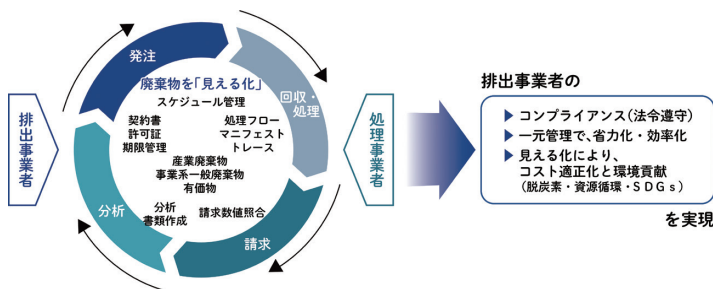
10月

- HS事業部門 新店舗開設
＜行橋営業所(福岡県)、東広島営業所(広島県)＞

廃棄物管理システム「SANIX system(サニックスシステム)」の販売を開始 ～脱炭素社会・資源循環型社会の実現に貢献～

年間約36万t、12,000事業場の廃棄物を処理するサニックスが監修した、事業者の廃棄物に関する業務を一元管理できる「SANIX system(サニックスシステム)」の販売を開始しました。

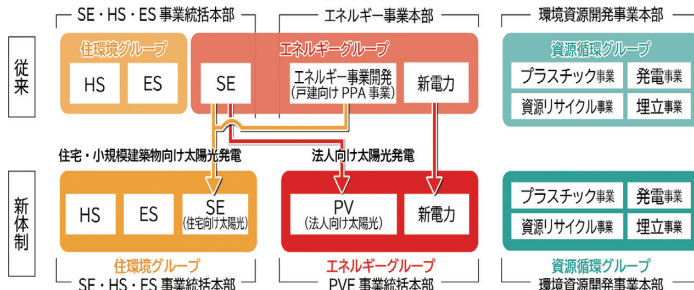
「SANIX system」は、廃棄物の回収・処理の流れ、量やリサイクル率など、廃棄物のすべてを「見える化」し、適正で効率的な業務遂行を実現するシステムです。ひいては、脱炭素社会・資源循環型社会の実現に貢献します。



組織改編(6月1日付セグメント変更)

企業理念である「次世代へ快適な環境を」の実現を目指し、急激な速度で変化する市場環境により柔軟に対応し、各事業の成長のみならず、事業間シナジーの追求による成長促進を目的に組織改編を実施しました。

●事業部門の組織改編



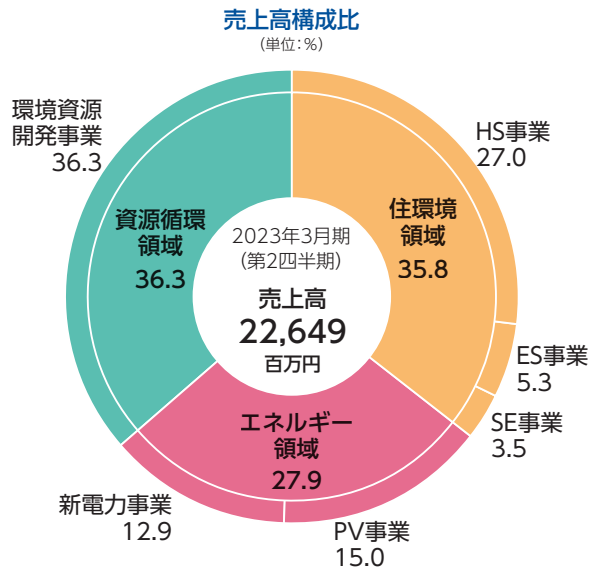
●本社部門の組織改編

コーポレート本部、コンプライアンス推進本部、サステナビリティ推進室を新設

当第2四半期 営業の概況

新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先としながら、住環境/エネルギー/資源循環の各領域でしっかりと事業を継続し、快適な環境づくりに資する価値創出に努めてまいりました。

また、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」の実現を目指し、急激な速度で変化する市場環境により柔軟に対応するため、各事業の成長のみならず、事業間シナジーの追求による成長促進を目的に、事業部門の組織改編を2022年6月1日付けで実施しました。これにより、セグメントの区分を変更しております。



※2022年6月1日付の組織改編に基づき、セグメント区分を変更しました。

住環境領域 快適な住環境を次世代につなぐのが当たり前の社会

HS (ホーム・サニテーション) 事業

事業内容

一般家庭向けの環境衛生に係る施工等、具体的には白蟻防除施工や基礎補修工事、床下・天井裏換気システム施工等を行っています。



売上高 **6,126**百万円 営業利益 **883**百万円

当第2四半期の営業概況

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続しながら、新規出店による事業拡大を図ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症第7波による影響を受けた結果、売上高は6,126百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

営業損益は、減収に加え出店等に伴う人員増により人件費等の固定費が増加したため、883百万円の営業利益(前年同期比36.6%減)となりました。

ES (エスタブリッシュメント・サニテーション) 事業

事業内容

企業向けの環境衛生に係る施工等、具体的には、ビル・マンション等の建物給排水設備維持保全施工等を行っています。



売上高 **1,190**百万円 営業利益 **8**百万円

当第2四半期の営業概況

積極的な人員の増加や新規出店による業容拡大により、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。[建物防水塗装補修施工]が前年同期比106.8%増、[建物給排水補修施工]が前年同期比11.7%増となりましたが、主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比29.5%減となりました。この結果、売上高は1,190百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

営業損益は、減収に加え出店等に伴う人員増により人件費等の固定費が増加したため、8百万円の営業利益(前年同期比92.7%減)となりました。

エネルギー領域 環境負荷の低いエネルギーが当たり前の社会

PV事業

事業内容

法人向け太陽光発電システムについての製造から販売・施工・メンテナンスを行っています。



売上高 **3,408**百万円 営業利益 **△159**百万円

当第2四半期の営業概況

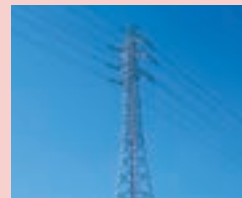
2022年6月の組織改編により、企業・法人向けに特化した太陽光発電システムの販売体制となり、太陽光発電システム等の施工、メンテナンス、太陽光機器の卸販売に注力してまいりました。この結果、売上高は3,408百万円となりました。

営業損益は、組織改編に伴うSE事業との人員の再配置により販売管理費が減少したものの、材料資材等の価格上昇により原価率が上がったため、159百万円の営業損失となりました。

新電力事業

事業内容

法人・一般家庭向けの新電力事業を行っています。



※現在、新規供給契約の受付を停止しています。

売上高 **2,914**百万円 営業利益 **133**百万円

当第2四半期の営業概況

卸電力取引市場の価格高騰等による調達コストの大幅な上昇により、採算性の確保が困難であると判断し、前下半期より事業縮小のため電力需給契約の新規申し込みの停止、電力小売契約の一部を取次契約へ移行を進めてまいりました。この結果、売上高は2,914百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

営業損益は、電力調達を相対調達メインとしたことで、電力調達にかかる価格変動リスクが解消し、相対取引による電力調達の余剰分を、価格が高騰している卸電力取引市場で売却したことで収益が改善し、133百万円の営業利益(前年同期比417.3%増)となりました。

資源循環領域 捨てないのが当たり前の社会

SE(ソーラー・エンジニアリング)事業

事業内容

戸建住宅向け太陽光発電システムについての製造から販売・施工・メンテナンスを行っています。



売上高 **791**百万円 営業利益 **△100**百万円

当第2四半期の営業概況

2022年6月の組織改編により、戸建てに特化した太陽光発電システム販売に注力する事業部門として、新しく立ち上げてまいりました。この結果、売上高は791百万円となりました。

営業損益は、新事業部門としての立ち上げに伴う費用の影響もあり、100百万円の営業損失となりました。

環境資源開発事業

事業内容

産業廃棄物として回収した廃プラスチックを加工し、それを燃料とした売電事業を行っています。また、外食産業や食品工場等から排出される廃液を受け入れ処理しています。



売上高 **8,218**百万円 営業利益 **1,558**百万円

当第2四半期の営業概況

一部工場において比較的単価の高い廃棄物の受入量が減少したことにより「プラスチック燃料」が前年同期比4.5%減となりました。一方、受入量の増加により「埋立処理」が前年同期比14.7%増、「廃液処理」が前年同期比2.7%増となり、「発電所売上」が前期は苫小牧発電所において4月の法定点検で発電を停止した反動により前年同期比11.7%増となりました。この結果、売上高は8,218百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

営業損益は、前期の苫小牧発電所の法定点検による減収及び修繕費を計上した反動により、1,558百万円の営業利益(前年同期比29.1%増)となりました。

サニックスのESG

当社グループは、事業活動によるお客様への価値提供を通じて社会課題の解決を図ることを価値創造モデルとしており、このビジネスモデルによって、「次世代へ快適な環境を」という企業理念を実現してまいります。

数字で見るサニックスグループ (2022年9月末現在)



シロアリ消毒施工軒数
約**820,000**軒



ペストコントロール施工軒数
(事業所向け害虫・害獣防除)
約**34,000**軒



給排水管維持管理施工件数
(防錆機器設置等)
約**38,000**件



廃液処理量
約**2,400,000**t



ユース世代のスポーツイベント
歴代参加者数
(ラグビー・サッカー・ハンドボール・新体操・柔道)
42カ国・地域から約**50,000**人

地球環境への貢献



太陽光発電販売・施工件数
(自社施工分)
約**48,000**件
(うち住宅用 約19,000件)
容量で約**1.4GW**(原発1基分相当)



資源循環型発電
プラスチック処理量
約**5,800,000**t
苫小牧発電所 発電量
約**4,900,000**MWh

スポーツ・文化を通じて、青少年の健全育成と国際交流に貢献

「サニックスワールドラグビーユース交流大会2022」 3年ぶりに国内大会として有観客で開催(4/28-5/5)

本大会の特長は、20年を超す歴史の中で、世界中の高校生が一堂に会し、競技以外の生活においても交流し、相互理解ができることです。若者がお互いの文化や習慣を学ぶことは、SDGsの達成に向けた取り組みを実行できる人材の育成にもつながっていくと期待しています。



©MasafumiONO

「サニックスプレゼンツ グローバルアリーナ・ブルガリア& ワールドフェスティバル」開催(9/12-26)

今年で21回目の開催となる当フェスティバルでは、ブルガリアの音楽や民族舞踊をはじめ、現地直送のワインや民芸品などをご紹介し、同国との友好を深めてまいりました。例年のような“カザンラック民族舞踊団”の来日は叶いませでしたが、今年はリモートにて、イベント出演や福岡県宗像市内の小学校との異文化交流を図りました。



第19回(2019年9月)ブルガリアフェスティバルより

「サニックス ラグビーアカデミー」の運営

2022年5月末で活動を休止し、28年の歴史に幕を下ろした宗像サニックスブルースの元監督や選手らが、小中学生の指導にあたっています。人財・環境を活用することで、福岡に新しいラグビー環境を提供します。ラグビースクールのようなチーム活動はないため、ラグビーをしたい子どもたちがそれぞれのチームの垣根を越えて学び合うことができます。



主要事業解説 … ES (エスタブリッシュメント・) 事業



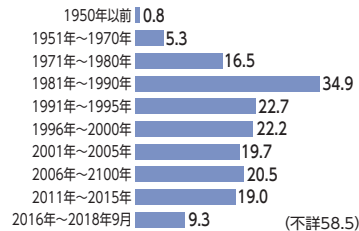
人が集い、働き、暮らす空間の快適・衛生を守る

法人向けの衛生管理に取り組むES事業では、ビル・マンションの給排水管設備保全と、食品工場や飲食店のペストコントロール対策が主な柱となります。

給排水管の設備保全では、防錆装置(商品名:ドールマンショック)の販売・施工を中心に顧客基盤を拡大しています。ペストコントロールに関しては、HACCPへの対応が求められる飲食店や食品工場など、多くの事業者へ衛生管理のノウハウを提供し、しっかりと時代の要請に応じています。これからも、確かな技術と専門知識による衛生管理を提供してまいります。

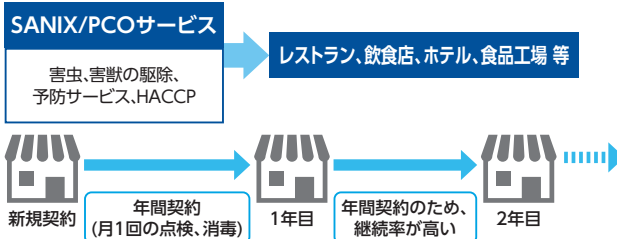
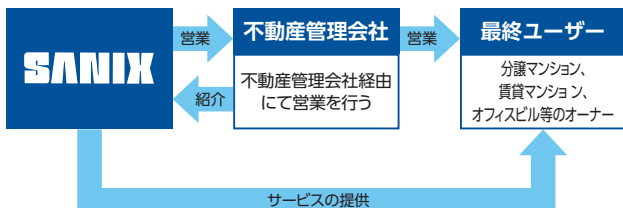
全国の共同住宅の建設時期

単位:万棟



平成30年住宅・土地統計調査(総務省統計局)を加工して作成

事業構造



*PCO(Pest Control Operator):有害生物防除技術者

主な商品・サービス

給排水設備の保全対策

給排水設備メンテナンスの効率的一元管理を実践。主力商品である防錆装置などにより、配管内のサビの発生・進行抑制による配管の長寿命化や、スケール・油污の除去・付着抑制によるトラブルの解決を図ります。

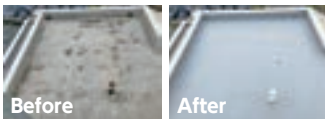
マイナス帯電水生成装置
(防錆装置)



内視鏡による給排水管内部の検査

ビル・マンションのメンテナンス

水回りの衛生管理、屋上の防水処理、外壁の塗装・洗浄・補修など、トータルに管理します。



屋上防水処理

有害生物の防除

高度な専門技術により、ゴキブリやダニ、ハエ、カ、ネズミなどの害虫・害獣駆除、害鳥侵入防止施工を行い、病原菌の媒体となる有害生物をシャットアウトします。



害虫防除施工

HACCPに沿った衛生管理サポート



ATP拭き取り検査(清浄度の確認)

飲食店や食品工場など、食品を扱う事業者には、HACCP(衛生管理手法)に沿った衛生管理が義務付けられています。専門的視点で、衛生管理計画の作成から運用までサポート。定期的な衛生点検および、その結果に基づく改善指導も行います。

決算ダイジェスト

会社概要／株式状況

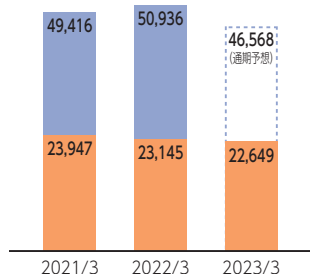
2023年3月期 第2四半期の連結業績

(2022年4月1日～2022年9月30日)

■ 第2四半期 ■ 通期

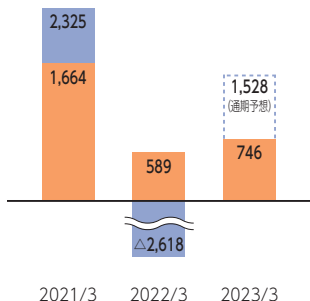
売上高

(単位:百万円)



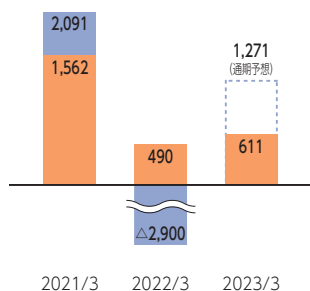
営業利益

(単位:百万円)



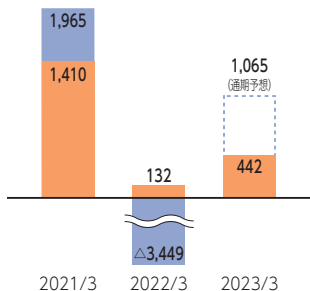
経常利益

(単位:百万円)



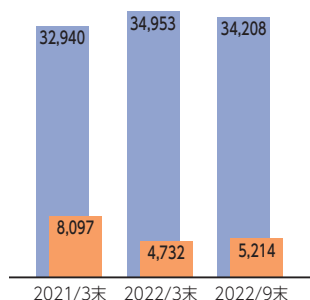
親会社株主に帰属する 四半期純利益

(単位:百万円)



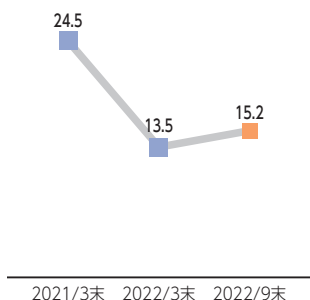
総資産 純資産

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



会社概要 (2022年9月30日)

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 商号 | 株式会社サニックス (英文名 SANIX INCORPORATED) |
| 本社所在地 | 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号 |
| 設立 | 1978年9月 |
| 資本金 | 140億4,183万円 |
| 社員数 | 2,099人(連結) |

役員 (2022年9月30日)

| | |
|---------------|--|
| 代表取締役社長 | 宗政 寛 |
| 取締役常務執行役員 | 稲田 剛士 増田 道正 金子 賢治 水川 浩一 田畑 和幸 武井 秀樹 |
| 取締役執行役員 | 井之上 基 |
| 取締役 | 高木 哲夫 |
| 取締役・監査等委員(常勤) | 上野 宏一 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 近藤 勇 金子 直幹 久保田 康史 安井 玄一郎 馬場 貞仁 |

(注) 近藤 勇、金子 直幹、久保田 康史、安井 玄一郎、馬場 貞仁は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式の状況 (2022年9月30日)

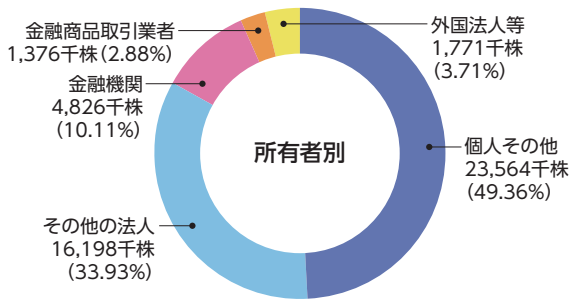
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 163,500,000株 |
| 発行済株式総数 | 48,919,396株 |
| 株主総数 | 14,298名 |

大株主

| 氏名または名称 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 株式会社バイオン | 8,716 | 18.23 |
| 宗政 寛 | 6,454 | 13.50 |
| 光通信株式会社 | 3,582 | 7.49 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,331 | 6.96 |
| 一般社団法人サニックス共済会 | 1,700 | 3.55 |
| サニックス社員持株会 | 1,176 | 2.46 |
| 株式会社UH Partners 2 | 756 | 1.58 |
| 株式会社SBI証券 | 537 | 1.12 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 536 | 1.12 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 535 | 1.11 |

※持株比率は自己名義株式(1,114,983株)を控除して計算しております。

株式分布状況



※持株比率は自己名義株式(1,114,983株)を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|--|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 定時株主総会議決権の基準日 | 毎年3月31日 |
| 剰余金配当の基準日 | 毎年3月31日、6月30日、 9月30日、12月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(通話料無料) |
| 株主総会資料の 電子提供制度(書面交付請求) についてのお問合せ | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル TEL 0120-524-324(通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所プライム市場、 福岡証券取引所 |

電子公告

公告掲載URL <https://sanix.jp>

公告の方法

ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。なお、みずほ信託銀行及びみずほ証券全国各支店にてもお取次ぎいたします。

シロアリや湿気の害からマイホームを守ります。

見えないところだからこそ、定期的なチェックをお勧めします。

まずは

床下調査(無料)でお住まいの健康をチェック!

お客様のご都合に合わせて、サニックスの専門スタッフが伺います。
日時の指定ができますので、お気軽にお申し付けください(日曜・祝日の調査も可能です)。



床下調査

床下収納庫や和室の畳を上げて入ります。



結果報告



ご提案・お見積り
調査・お見積りは無料です。



責任施工
(有料)



シロアリ消毒
安心保証(5年間)

お客様相談室(通話料無料) ☎ 0120-39-3290 受付時間 8:30 ~ 17:30(土日祝も承っております)

株主アンケートご協力のお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2022年12月31日(土)までになります。

アクセス方法

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号

TEL.092-436-8870

URL.<https://sanix.jp>

サニックス

検索

